



軽快な音楽とコールに合わせて隊形を変化させながら踊るつくば市森の里の「森の里公会堂」

楽しみ隊

森の里リバーサイド スクエアダンスクラブ

3回やるとはまり、1カ月で病みつき

スクエアダンスはアメリカ発祥のフォークダンスの一種で、男女ペア4組8人が1セットになり、コール(指示)に従って踊る。コールする人をコーラーと呼ぶ。同クラブは初期クラスで、53種類の基本動作をその場で組み合わせて英語で指示を出す。

どんなコールが出るか踊り手には分からないため、コールを瞬時に判断して8人が息を合わせて動作を変化させる。その即興性とゲーム性がスクエアダンスの特徴で、脳の活性化にもいい影響を及ぼすという。

経験を積み、指示を出せるコーラーはスクエアダンスの中核で、会長の横田紀男さんがマイクを握ってコールする。横田さんと妻陽

子さんは17年前、知人が主催する取手のダンスクラブに誘われてとりになった。

つくば市森の里にクラブを発足させようとめ、女性が黄色いたすきをかけて男性役をこ

スクエアダンスで人の輪が広がった!! 同



森の里

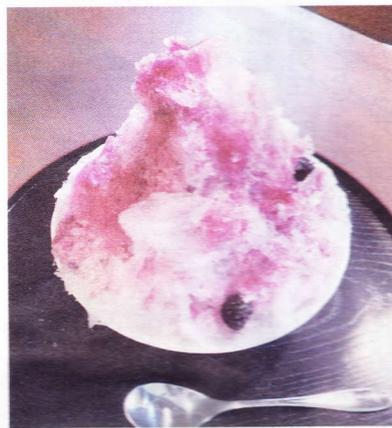
ます。

歩くことができる人なら誰もが楽しめるスクエアダンスは「3回やるとはまり、1カ月で病みつきになる」と横田さんは話す。近隣地域や関東規模でパーティーが催され、男性はウエスタンシャツ、女性はスカートを膨らませたファッションで華やかに着飾って参加する。「シニアの会員たちが10歳若返る」と陽子さん。

コーラーの横田さんも会員たちも対等に楽しむことを念頭に、月会費は1000円に設定。負担は軽く、生涯の趣味になり得る。

(橋立多美)

◆入会は9月4日(金)に開講する全15回の講習会受講が必要。講習会は第1・2・3金曜午前9時から、同市森の里の「森の里公会堂」で。問い合わせは横田さん(電話029・876・0786)まで。



日升庵のかき氷は自家製のブルーベリー味

つくばのブルーベリーでかき氷

日升庵、夏を先取り

梅雨入り後、真夏の日差しの日もあるなか、筑波山神社入り口、大島居近くの手焼きせんべいカフェ日升庵(にしゅうあん、つくば市筑波)に、かき氷がお目見えした。

日本三大ブルーベリー産地として知られるようになった、同市産のブルーベリーの実が入り、シロップもブルーベリーを使った自家製。旬の時期だけに味は格別だ。

かき氷の歴史は古く、清少納言の「枕草子」に「あてなるもの(削り氷(ひ))にあまづら入れて あたらしき 金鏡(かなまり)に入れたる」とあり、「あてなるもの」としてかき氷が登場する。平安貴族もかき氷を楽しんでいたようだ。

関東の梅雨明けは例年7月21日ごろ。かき氷で真夏を先取りできそうだ。

(杉本亜紀子)

◆日升庵の営業時間は午前10時～午後6時、電話029・875・8821。



有る事



谷口 真利

らして8年か
の場で伝えて
まに書かせて
それはあの
い自分自身で
難しい」とい
とう」の語源
て難しいほど
うことです。
当たり前
れ、「おはよ
でのあいさつ
と。春夏秋冬
に肌で感じ、
る肉体がある
できる家族や
「いってらっ
かえりなさい
日々のただの
はない。その
おしく、本
来す。

「有り難う
分自身の軸が
寧に暮らすこ
深く愛するこ
した。主婦の
しかしとても
働くこと、
むこと、そし
を有り難く楽
一度きりの
命。尊いもの
(取手市、
〜)・主婦・

※守谷市の王からタスキを